

平成 24 年 度
開星高等学校入学試験問題

(第 1 限 9 : 20 ~ 10 : 10)

国 語

注 意

- 1 「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 問題は全部で 4 題あり、7 ページまでです。
- 3 「始め」の合図があったら、まず、解答用紙に受験番号を書きなさい。
- 4 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 5 「やめ」の合図で、すぐ鉛筆をおき、解答用紙を裏返しにして机の上におきなさい。

【『漢字は日本語である』（小駒 勝美）による】

(注) (ソフィステイケート) Ⅱ 都会的に洗練する。

(問題作成上の都合で一部を改変した)

問一 傍線部⑦～⑩の漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

問二 波線部①「日本固有の豊かな文化である漢字」とあるが、筆者がそのように言えるのはなぜか、理由として当てはまるものを次のア～オの中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本では長い時間をかけて漢字が改良され、中国語にはない独特な訓読の方法を開発してきたから。

イ 日本には、昔の中国で存在していたものの、もはや使われなくなってしまった「ひらがな」「カタカナ」の文化が残っているから。

ウ 日本の中で通用する熟語を多数作り出して、さまざまな表現が可能になっているから。

エ 中国では、日本から持ち込まれてきた簡体字が主体となっており、伝統的な繁体字の使用の度合いが少なくなっているから。

オ 日本に入ってきた漢字は、千五百年間、全く変わらずに使われているから。

問三 波線部②「反論」とあるが、その反論の根拠を説明した左の文章の空欄ア～オを文中の言葉で埋めて、文章を完成させなさい。

もともと漢字はアで生まれたものであり、今から三千五百年まえの殷の時代のイ文字の発掘調査では、すでに高度なウがあったことが確認された。さらにエに伝わったのは、イ文字

問四 空欄A～Dの中に入る言葉の組み合わせとして正しいものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア A たしかに B しかし C あるいは D おそらく
イ A しかし B たしかに C ところで D たとえば
ウ A しかし B あるいは C たとえば D たしかに
エ A たしかに B しかし C おそらく D たとえば
オ A おそらく B たしかに C たとえば D しかし

問五 波線部③「なぜ、日本には、ちゃんと使える漢和辞典がないのだろう」とあるが、それはなぜだと筆者は考えているか、文中の表現にそって、その理由を六十字以内で説明しなさい。(句読点も一字に数える)

問六 空欄Eに入る最も適切な言葉を次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 矛盾 イ 好印象 ウ 悪循環 エ 展開 オ 常識
問七 本文の内容に合うものとして最も適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 今の日本は漢字ブームであるので、この漢字ブームに乗り遅れないようにしっかりと高校生のうち漢字を学ばべきだ。

イ 日本における漢字は、中国と全く違う発展を遂げている。したがって現在の漢字は中国とは一切かわりがない。

ウ 現在の日本の漢字は、中国よりも、複雑な訓読を必要とするが、それは過去に存在した中国の訓読を真似たにすぎない。

エ 現在の中華人民共和国という名称の意味付けは、中国独自のものというより、日本から逆に入ってきた意味を用いている。

オ 漢和辞典と反対に国語辞典の使い勝手はよいが、それは国語辞典が一冊あれば、漢和辞典の性能も完備してしまうからだ。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

【図書館の神様】(瀬尾 まいこ)による

問一 傍線部⑦ㄅの漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

問二 二重傍線部⑧ㄱㄴの語の文中での意味として最も適切なものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

⑧「仕方ない」 ア もったいない イ たまらない
ウ わからない エ 気にならない

⑨「鼻につく」 ア 集中できない イ どうしようもない
ウ びっくりする エ 気にくわない

⑩「黙々と」 ア だらだらと イ おとなしく
ウ てきばきと エ ひたすらに

問三 傍線部①「今日はいったい何をするの？」に込められた「私」の心情として、ふさわしいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 問い詰めようとする心情。 イ 期待している心情。
ウ 不審に思う心情。 エ 不安に思う心情。

問四 傍線部②「野球部やサッカー部がとんぼを引くのと一緒にですよ」とはどういうことですか。説明として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア どの部活動でもやっている重要な儀式のようなものであるという
こと。

イ それをやることで気分が高まる効果が期待できるものであると
いうこと。

ウ みんなでやる方が早く終わるので、一人でも多い方がよいとい
うこと。

エ 活動の環境を整える上で基本であり、当たり前なことだとい
うこと。

問五 傍線部③の「一□二□」のそれぞれの空欄に漢字を入れて四字熟語を完成させなさい。

問六 傍線部④について、「私」が「しぶしぶ本の分類にかかった」のはどうしてですか。四十文字以内で説明しなさい。(句読点も一字に数える)

問七 傍線部⑤について、「私」がこのとき得た「充実感」によって、図書館の情景が「私」の目にどのように映ったか、擬人法を用いた表現を一文で抜き出し、初めの五字を答えなさい。(句読点も一字に数える)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

【第三問題】 次の古文を読んで、下のそれぞれの問いに答えなさい。

ある書物にのっていることには、

人が残っていた

ある文には、趙柔といふ人、路にあうて、人の残せるころの金珠、

ひもを通した一束

ひとつらぬきを得たり。その値多くの絹にあたりといへども、主を呼び

たいそつ

て、返し取らせたりければ、人これを聞きて、おほきにうやまひけり。

またいはく、漢の楊震、東萊の太守として昌邑といふところを過ぎける

昔からのよしみがあったので、

に、そのころの司、古意あるによりて、金を忍びやかに震に与ふ。震が

いはく、「A も知り、地も知れり。我も知り、B も知る」と言

ひて、つひに受けず。

「四知を恥づ」とはこれなり。おろかなるたくひは、人の見るばかりを

気にして、

「驚になつていひおこすを

たよりなく

はばかりて、天のかがみ給ふことを恥ぢぬなり。はかなくうたてき心なり。

【十訓抄】による】

(注)

(金珠)

|| 金や宝・石などの財宝。

(楊震)

|| 人名。本文中の「震」も同じ人物。

(東萊、昌邑)

|| いずれも地名。

(太守)

|| 長官。

(司)

|| 役人。

問一 傍線部⑦・⑧の読み方を現代かなづかいで書きなさい。

問二 二重傍線部②③④の主語を次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選
び、記号で答えなさい。

- ア 趙柔 イ 主
- エ 司 オ 天
- ウ 楊震

問三 波線部①・③・④の口語訳として適するものを次のア～エの中から
それぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ①「あたりり」 ア 出くわす イ 探し回る
- ウ 当選する エ 相当する
- ③「忍びやかに」 ア こっそりと イ 申し訳なきそうに
- ウ 堂々と エ 知らないうちに
- ④「うたてき」 ア 弱々しい イ うとうしい
- ウ 情けない エ 道理の通らない

問四 波線部②「うやまひけり」とあるが、人々に敬われたのはだれのど
のような行動ですか。解答欄に合う形で二十字以上三十字以内で説
明しなさい。(句読点も一字に数える)

問五 空欄 A・B に適切な漢字一字をそれぞれ文中より答えな
さい。

問六 本文の内容と一致するものを次のア～エの中から一つ選び、記号で
答えなさい。

- ア 趙柔は道で金珠を拾ったときも、すぐさま自分の主人に報告し、
差し出すほどの忠誠心を持っていた。
- イ 楊震は昔からのよしみのある人からわいろを贈られたが、世間
にそれを知られるとよくないと思い、断った。
- ウ 趙柔・楊震はともに、自分や世間はかりでなく、天に見られて
も恥ずかしくない行いを心がけた。
- エ 趙柔・楊震は、ともに天がご覧になっていることに気がつか
ないほど愚かな人生を送った。

【第四問題】

次の文章を読んで、意見文を書きなさい。その際、後ろの①～③の指示に合うように書きなさい。

【『通販生活』（カタログハウス）に掲載された文章による】
（問題作成上の都合で一部を改変した）

（この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。）

- ① この文章の中にある「優先座席の全席拡大」について、あなたは「賛成」・「反対」のどちらの立場を取りますか、解答欄の「賛成」・「反対」のどちらかに○をつけなさい。
- ② 「そう考える理由」や「自分ならばどうするのが好ましいと考えるか」を百字以上百五十字以内で述べなさい。（句読点も一字に数える）
書き方について
- ③ 書き出しで「私は優先座席の全席拡大に賛成である。」など「賛成」か「反対」かを改めて述べる必要はありません。
①「なぜなら……」の形で書き始めても構いません。
③（3）一マス目から書き始め、段落は設けしないで書きなさい。